



長野県民生児童委員だより

# つなぐ

Vol. 106

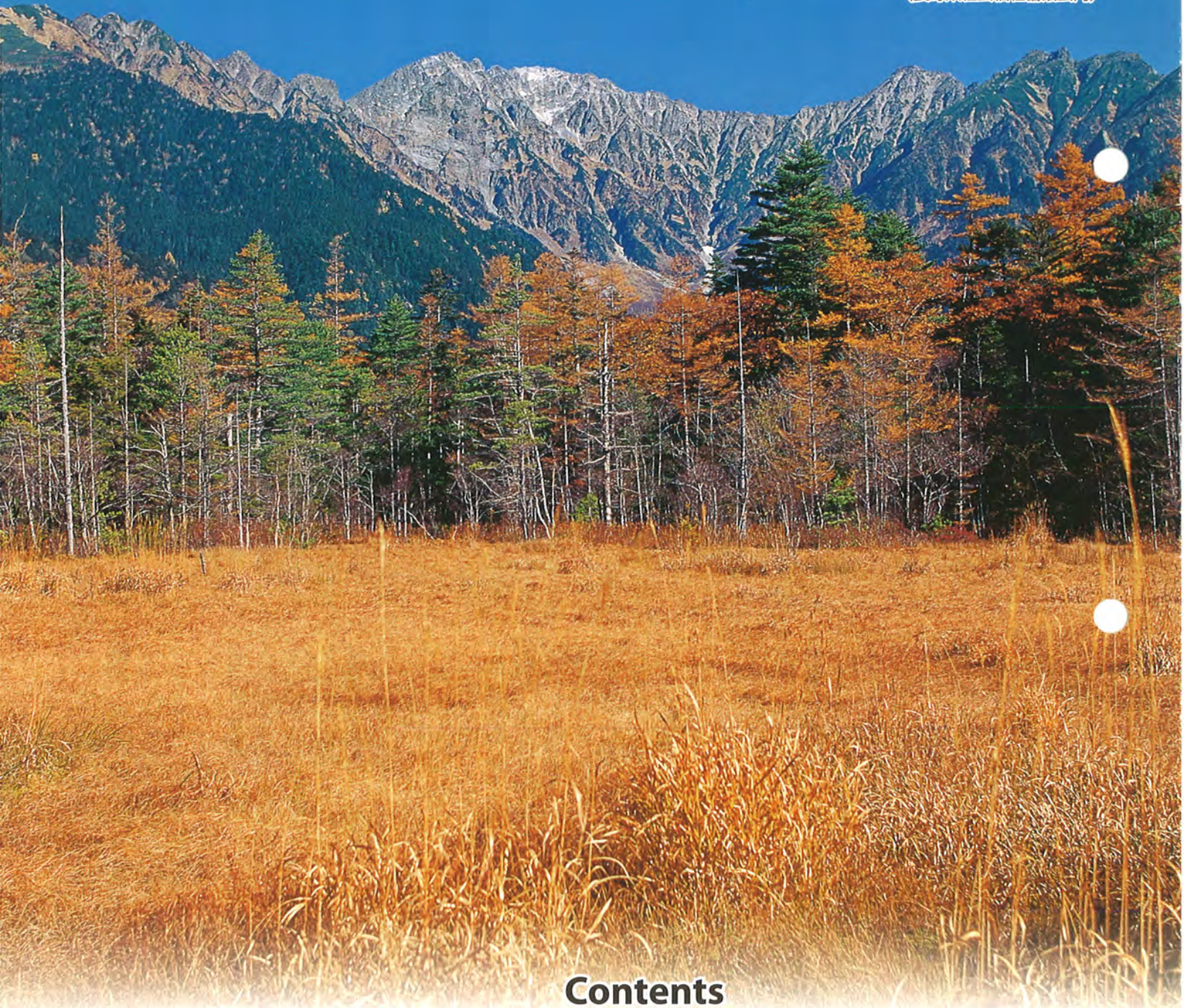
2011  
Autumn

平成23年10月1日

発行人 長野県民生児童委員協議会  
会長 百瀬 弘

編集人 編集委員会  
委員長 熊井 文弘

〒380-0928 長野市若里7丁目1番7号  
(長野県社会福祉協議会内)



## 特集

### 新人トーク 座談会

#### 民生児童委員の新人4人に聞く

## Contents

新人トーク 座談会	2
新人の素朴な疑問に答えますQ&A	3
訪問①千曲市八幡地区「ふれあい活動員」	4
訪問②富士見町「コミュニケーション体制」	5
ひろば／茅野市・松本市・小海町・野沢温泉村	6
トピックス 新人アンケート調査結果	8

# 新人トーク 座談会

## 民生児童委員の新人4人に聞く

### 就任から8カ月、新人の意見を地域に生かすには…。



佐久市 北村亨さん  
 諏訪市 藤森孝子さん  
 松本市 橋本みゆきさん  
 長野市 竹田孝司さん  
 司会 熊井編集長

※2011年7月27日  
 県民事協事務局で

いない」と言われ、断りきれませんでした。

藤森 私の地域では女性の委員は私が初めてなので、委員は男性がやるものと思っていましたが、「高齢社会の中で女性のほうが、お年寄りが話し易い」と頼まれたのです。母の介護もあって一度はお断りしたのですが、母が亡くなってから、今度はぜひと言われ断れませんでした。

橋本 以前、社会福祉協議会に勤めていました。退職後、町会長から勧められました。経験者、地域のために生かせたらという気持ちもあってお引き受けしました。

竹田 私は主夫歴が長く、公民館など、地区の活動をボランティアでやってきました。町内の子どもに関係する団体もやっていて、そこで親しくなった育成会長や地区民児協会長から「町内には主任児童委員がいなから、是非に」と頼まれてしまって。今までやっていることそんなに大差はないかなという思いと委員をやっていると他の役は断れるかもという気持ちもありました。

### 個人情報保護の問題が難しい中で。

—皆さん「無理やり頼まれて断りきれずに委員になられたようですね。委員を委嘱され、詳しい説明や引継ぎもなく書類を渡されただけという方も多いようですが、活動する中で、不安はありますか。

竹田 今までボランティアでやっていたこととあまり変わりないのですが、参加して楽しくやっていけばいいだけではなく、責任が重くなったと。児童虐待など深刻な問題が出てきたとき、まだ経験がないので正直不安です。主任児童委員は範囲が広く個々の部分でわからないことが多いので地区の委員と助け合ってコミュニケーションを図るようになっています。

橋本 地区の皆さんとは顔見知りなので、会話はスムーズに進み、他の委員とのコミュニケーションも取れています。初めての委員なのに会長もやることになってしまつて。6人中5人が新人ですから、活動記録の記入方法ひとつわからず、研修を受けてもまず説明自体を理解するのが難しい。会長会で聞いてきたことも説明するのに必死で、皆さんに理解していただいているのか不安です。

藤森 地区にひとり暮らし高齢者が多く、この前のような地震があると安否確認などどう対応したらいいのかわからないという責任の重みが常にあります。出歩くことが多く、自分の家のことですらままならない状況で、緊張感いっぱい日々を送っています。実は今日この座談会に来るのも大変緊張しました。

北村 私の場合は公民館活動で人間関係ができていたので、気は少し楽です。いきいきサロンのお年寄りの力を借りています。元気な89歳のゴルフ友達も地域にいます。その存在は大きいですが、いきいきサロンの高齢者は出てきてくれる人たちですが、委員になって初めて閉じこもりの方やひとり暮らし、耳の遠い方に接し大変さを感じています。

実は、施設入所して不在の家（連絡先は県外）で「戸外にある給湯器が凍結して水漏れがする」と近所の人から連絡がきました。「私がやるの?」と思いつながら結局私が水道局に連絡しました。

—そういう場合、委員がどこまで入りこんでいいのか、私も未だにわからない。また、今は個人情報保護が大変厳しいですが、その点はどうですか。

北村 この間高齢者の実態調査がありましたが、個人情報取扱ガイドラインを参考に担当範囲を地図から拾いだした所、知らない方もいてびっくりしました。ガイドラインは大変助かっています。

竹田 以前に比べ最近は学校側から見守りが必要な児童の情報提供があり、地区の委員とも連絡を取り合っ

県内では、昨年12月の一斉改選で5,235人(欠員13人)に委員が委嘱されました。そのうち54.3%(全国32.3%)が新任委員です。就任から8カ月、活動にもだいぶ慣れてきた頃ではないでしょうか。そこで、新任委員4人と熊井編集長で座談会を開催、活動に対する思いや疑問などを率直な気持ちを語っていただきました。

「断りきれなくて」就任。経験を地域に。—委員を引き受けられたきっかけをお聞かせください。

北村 会社を辞めてから、育成委員や公民館長をやり、市報の編集委員をやっている時、区長から「お前しが

## Q&amp;A

会長に聞く、新人の素朴な疑問に答えます。

アンケート調査を行いました(裏表紙参照)。百瀬会長に座談会に参加していただき、新人のみなさんの疑問に答えていただきました。

## Q 活動記録の書き方は？

A 活動記録の書き方について困っている方が多いですね。先輩や地区会長に遠慮せずきくことです。こうした悩みがアンケートにも出ていますから、研修を考えたいと思います。

## Q 民生児童委員のやりがいは？

A 「やりがい」については、すぐに民生児童委員として、出てくるものではありません。民生児童委員が相談ののった結果が、当事者の生活につながっていく。相談の効果は、即効性のあるものではないのです。じわじわとやりがいを感じてくると思っています。

## Q 防災について教えてください。

A 6月30日に松本市で震度5強の地震がありました。そこで避難所の問題が明らかになりました。例えば体育館を避難所にして防災マップに載せていても、それが壊れた場合、次の避難先はどうするのかということまで、想定する必要があります。また学校側が子どもたちをすぐ家に返してしまい、学校へ避難する人たちと下校する子どもたちと交錯する場面がありました。学校との連携も大事です。

## Q 民生児童委員のやるべき範囲は？

A 民生児童委員が自ら毎日おにぎりを作って持っていか、何軒も自ら雪かきをするというように、自分で背負ってやっていたら、後継者はいなくなります。そうではなく、困っている人がいたら地域や、行政機関などへ「つなぐ」ということが大切です。

## Q 行政からの頼まれごとが多いですが。

A 「意見具申」ということを大事にしてください。行政の下請けではありませんから、行政がやるべきことは地区定例会などを通じて具申することが大事です。新人の方にもぜひ積極的に意見を言って欲しいと思います。このことが活動しやすい環境づくりになります。

ています。幼稚園・保育園との交流が少ないのは、ちょっと気がかりです。保育家庭支援課にお願いはしていますか…。

— お年寄りの情報は入りますが、子どもの情報がなかなか入ってこないですね。

藤森 私どもの地区では、PTAから委員に話があり「ぶらぶら運動」を委員と地域のお年寄りで行っています。腕章をつけて子どもの見守りをしていますから子どもたちが、顔を覚えてくれます。

— いいネーミングですね。「〇〇パトロール」とかじゃなく。子どもたちに対しても上から目線じゃないのがいい。「つなぐ」で一度取材して紹介したいですね。

藤森 地域ぐるみで災害マップを作る際、区長から情報を出して欲しいと言われて。地区会長とも相談して出すのは難しいということになりました。

— 区長から依頼が来る場合など、原則は個人情報を出さないのですよね。

北村 敬老会の時など、前任者は出してくれたと言われればどうしたらいいのか。

— そういう場合の対応についてもガイドラインに書かれていますよね。

「あじがやじ」のひと言がやりがい。

— 委員として日は浅い中でも、やってよかったという経験はありましたか。

藤森 高齢者が多いから、みんな平等に扱ってほしいと言われているので、薬を取りに行く、電球を替えるというようなことは家族の方をお願いするとか、組長に連絡しています。そんな程度ですが、「くるうさま。ありがとございます」と言われるだけで、少しでも役に立てた、やってよかったと思います。

北村 ひとり暮らしの高齢者を訪問した時「初めて来ていただいた」と大変喜ばれました。生活保護世帯の方から「健康維持のため少しだけ働きたいが、給付が減額されてしまう」と聞いて、市役所に行つて調べました。地域には目に見えないけれど、いろいろな現実がある。少しでも支援につながるようじっとしてはいけないのかなと思います。

竹田 私は日々、子供たちと遊んだりして楽しくやっています(笑)。

橋本 東日本大震災で安否確認の電話をした時、お年寄りから「心配してくれてありがとう」と言われて嬉しかった。名簿に沿って一人一人きちんと訪問しなき

やなあと思いました。またひとり暮らしのお年寄りの地デジ化対応をしたら、「ご家族からお礼の電話があったのも嬉しかったですね。

— わかります。お礼を言われると嬉しいですよね。

北村 不在の90代のお年寄りが実は施設に入っていたという情報を、2軒先の近所の方が教えてくれて、近所の関係は大事ですね。

藤森 自治会が決め、委員が協力して、防災マップづくりはかなり進んでいます。地区を細かく分け、8軒ずつ隣組だけで避難場所を決め、その後、市の指定した場所へ避難するようにというような。隣組同士の避難訓練を行う予定です。地域ごとに割と団結はしていますね。

— 「向こう三軒両隣」が支え合いの基本ですよ。隣組単位というのが大事ですね。新任委員の調査結果からもわかるように、推薦された時は、さほどやる気がなかったという方も、いざやってみると前向きに活動に取り組んでいらつしやる。皆さん、素晴らしい人材の方々ですね。

前任者からの引き継ぎや研修会・定例会の進め方など、多くの課題もあります。新人の方も遠慮せず意見を言っていたら、委員が活動しやすい環境づくりをしましょう。今日はありがとうございました。

訪問

# 民児協 だより



記者が地区民児協におじゃまし、会長や委員とコミュニケーションを図って、第三者の目でレポートしていく「訪問」コーナーと各ブロックの委員から活動を通して感じたことやエピソードを率直に寄稿していただく「ひろば」コーナーです。

## 千曲市八幡地区民生児童委員協議会



12の集落を主任児童委員含め16人で担当。前列中央が轟会長。

みんな顔見知りの土地柄に加え、「ふれあい活動員」の協力できめ細かな対応。

千曲市の八幡地区は千曲川の西岸に位置し、日本棚田百選のひとつとして知られる「田毎の月」の里です。風光明媚な環境に恵まれ、地域に根付いた暮らしがまた息づいている所。昨年12月から会長になった轟慎夫さんによると「田舎だから民生児童委員の活動は楽」とのことです。民生児童委員になっているのは、若いころからPTA役員やボランティア活動などに積極的で地域に知られた方々ばかり。もともと顔見知りの多い土地柄の中のさらに知られた方々ということで、いろいろな事業がしやすくなっています。

千曲市の社会福祉協議会では「小地域ネットワーク事業」を推進していて、八幡地区の民生児童委員も一翼を担っています。阪神淡路大震災をきっかけに、災害時にひとり暮らしの方をどう支援するかが大きな課題となりましたが、そこで期待されるのが小さな単位で日ごろからきめ細かく見守るネットワ

ークの力です。事業の元になるのは、区を単位とした「災害時要援護者支え合いマップ」。民生児童委員の役目は、要援護者をピックアップして市に報告することです。毎年の名簿更新も、日ごろからの見守りがあるのでスムーズです。「昔はマップを手作業で作ったので大変だった」と轟さんは振り返ります。



年に6回実施の「ふれあい訪問」では、知的障がい者の作業所で作る品物を渡しながらコミュニケーション。

きめ細かな見守り活動のため、民生児童委員ひとりに対して5、6人付けられる「ふれあい活動員」は大きな助っ人です。例えば要援護者のお茶飲み友だちや、近隣の人にふれあい活動員になってもらうなどの工夫で、身近な人ならではの情報も民生児童委員に届き、一層細かな見守りができるのです。

轟会長の「各自がアンテナを高くしている」との考えから、形式的になりがちな定例会を実のある話し合いの場にする配慮も。また人間関係が濃いだけに守秘義務は大切で、「3回に一度は確認して徹底している」そうです。「病院に連れて行って」「買物をお願い」など、頼まれ事が多くなるのも土地柄から。親しい間柄と役割とのバランスを取りながらの判断も活動の一環として大切な点になっています。

## 富士見町民生児童委員協議会

**コミュニケーション体制を大事に  
たくましくの目で住民を見守ることを実践。**

JRと高速道共(に東京から約2時間、別荘地として知られる富士見町は、人口約1万5千人。また山梨県と甲斐に接するため、県境をまたいで通勤・通学など人的交流もあるのが特徴です。

「311の震災直後、緊急連絡網で安否確認を依頼し実施後直ちに集計して町へ報告した。また県境の地域に福島から避難してきた親子を知るや否や、富士見町と山梨県側の民生児童委員や社会福祉協議会、行政に声を掛け協力して支援した」と話すのは富士見町児童協会長の森山誠さん。



富士見町は民生児童委員40人、主任児童委員3人。写真は各地区代表者のみ。前列真ん中が森山さん。

近年、行政区内の高齢化に加え、別荘地区永住者の高齢化も深刻となる中、

行政加入、未加入問わず町民を「見守り、支える活動」を継続しているのは、日頃から役場・社会福祉協議会・包括支援センターなどとの絆が強いことが富士見町民協の強みと云います。特に今年は社会福祉協議会との意見交換会も行いました。「福祉担当者やケアマネージャーらがひとりで問題を抱えず、民生児童委員とも共有し、大勢の人の目で高齢者を見守ること。まさに『協働』です」。一方で、民生児童委員から、町がやるべきことへの意見も申す。

かまいません。

子どもの見守りについては、学校との連絡協議会を年数回実施し、連携体制をとっています。今年度は、要援護者支援システムを導入し、更に見守りを強化します。

『赤ちゃん訪問事業』では、民生児童委員と主任児童委員が家庭を訪問し絵本をプレゼント、乳幼児家庭学級の際には、民生児童委員が当番制で手伝いをするなど、若い夫婦とのつながりを築き、気楽に相談できる関係づくりに心がけています。

7月20日の定例会では、委員同士の情報交換に加え、包括支援センターから高齢者虐待の事例発表やその対応、市民団体からオレオレ詐欺防止の紙芝居など、実りある発表が印象的で、参加者が互いに学びあう場となりました。

「民生児童委員は、野に咲く小さなひまわりのようでありたい」と森山さん。地に根を張り、住民を見守り、地道に地域に溶け込んで、人の心をほんのり照らす……ここでは民生児童委員は、コミュニケーションをこやかに咲いた、小さなひまわりのような存在なのです。



7月20日、富士見地区と、ケアマネージャーやヘルパーなど社会福祉協議会との意見交換会の様子。



### 表紙写真紹介 穂高岳

3000m級の峰々。右から明神岳・前穂高岳・奥穂高岳・西穂高岳が連なり、ミシュランから「2つ星」を与えられている。原生林の中に忽然と現れる湿原「田代池」。ここからの穂高連峰の展望がすばらしい。



穂高岳



焼岳

#### 撮影

松本市安曇  
民生児童委員(安曇地区)

大野 善章さん

#### profile

旧安曇村出身。撮影ジャンルは、特にネイチャー。2001年松本Mウィングでスイスグリンデルワルト写真展を皮切りに写真展多数。現在、民生児童委員3期目。

## 表紙写真募集!!

表紙を作品発表の場、地域の紹介の場にと考えています。日ごろ写真を趣味にしているや民生児童委員の方々の地域の風景やお祭りなどの風物詩を撮った写真を募集します。

デジカメで撮った作品の電子データをCDRに入れて、撮影者のプロフィール、写真の内容に関する説明を添えて県事務局までお送りください。詳細は県事務局(026-225-1613)まで。

# ひろば

## 南信ブロック

### 『さくら祭』

茅野市豊平地区民児協

長田 憲

『さくら祭』は区(自治会)社協「ひまわりの会」主催で毎年開かれる。1人100円以上の参加費と飲み物は各自持参し、経費は区に負担をかけない手作りの祭りだ。

「ひまわりの会」は、福祉推進委員・民生児童委員・ボランティア・区役員・福祉に理解のある区民等で構成され、月2回定例会を開く。災害時支え合いマップ作成を機に組織された。

『さくら祭』も子どもから高齢者まで気軽に参加でき、区民の交流の場にと企画。今年は東日本大震災もあつたことから、防災をテーマに電気ガスを使わず、米6升の炊き出しで、200個のおにぎり、大鍋では豚汁、定番の焼きそばを作った。

祭は市の指導者の下、健康体操に始まり、持参の飲み物を酌み交わしながら、防災O×クイズ・ビンゴゲームで盛り上がる。「あのヤンチャ坊主はどこん家の孫だぞ」「LOOKの孫」



▲炊き上がったご飯でおにぎり

様も力千大将だったが良い跡取りだと会話も弾む。

近所つきあいの少ないこの頃、手作りの祭は地域の絆を取り戻す良い機会だ。共助の大切さを参加者は感じてくれたと思う。日頃の支え合い万一の災害時に一番大切なのは隣人同士の絆だ。

民生児童委員としてというよりは一区民一人人として、地域福祉の一助となるこんな活動に参加し、楽しい時間を仲間と共有している。

## 中信ブロック

### 地域に根ざす

松本市波田地区民児協

山田 功

平成22年3月31日に松本市に合併し1年が過ぎた波田地区は、松本市の西部に位置し、人口約1万6千人約5千世帯、65才以上高齢者は約3千7百人、高齢化率約24%で、民生児童委員28人、主任児童委員2人の30人で27町会を分担しております。活動も波田町から松本市方式に変わり、新たな活動では、

①「こんにちは赤ちゃん」は毎月10件位を各地区担当委員と主任児童委員の2人で訪問し「プレゼント」「O&A」を手渡し、赤ちゃんに必ず面会するようにし、民生児童委員の活動説明をして、いつでも相談に応じられることをPRしてあります。

②「福祉ひろば」も1年間の準備期間を経て、4月から開設され、毎月第4木曜日「ふれあい健康教室」を実施しています。各町会の役員・民生児童委員が運営に加わり専任コーディネーター(2人)のもと、毎回趣向を凝らした催し物で楽しく開催しています。回を重ねる度に参加者も増え、6月は約90人と大盛況で

催しています。回を重ねる度に参加者も増え、6月は約90人と大盛況で



▲七月「ふれあい健康教室」

した。毎月参加の常連者も増え、初参加者からは「楽しかったので次回も参加する」とありがたい声をいただいております。

「出前ふれあい健康教室」も毎月2町会ずつ開催(各町会ティホームの開催日に実施)しています。松本市に合併後の新たな2つの活動で、初めは戸惑いましたが、回を重ねる度に自然体で行えるようになりました。

③「要援護者登録」につきましては、松本市の登録に切り替わりますが、市から登録活動指示があり次第町会と連携をとり、旧波田町登録を基に、早急に取り組みができるよう待機中です。

30人の委員は、任期3年間、地域に根ざした活動を日々頑張っております。

東信ブロック

委員の役割が重要視される時代

南佐久郡小海町民児協

菊池 多吉

わが町の民生児童委員は区長及び役員の推薦により選出後、行政の選考委員会にて選任委嘱された19人（主任児童委員を含む）で構成され、事務局担当者と共に各自が一生懸命福祉活動を行っています。

毎月の定例会では、地域の委員が抱えている問題を委員全体で話し合います。担当委員の負担にならないよう、全員で考え、事務局のアドバイスもいただきながら、問題解決に努力しています。

福祉に関わる民生児童委員の役割が重要視される時代です。特に独居老人、老々世帯の見守り・安否確認は行政福祉係や地域包括支援センターとの密なる情報交換が必要かと思えます。民生児童委員は月1回の見守り訪問、社協は月末の配食サービスをを行うなかで安否確認をしています。高齢化時代に向かって行政・民生児童委員・地域住民が高齢者に関心を持ち見守っていくことが一番大切ではないでしょうか。

児童に対しては、小中学校教師と



▲園児との交流の様子

委員が懇談会を開き協議しています。ボランティア活動として保育園の花壇作り・秋に行われる焼き芋大会に向けての畑作り、地域活動支援センター「ひまわり」の皆さんと共に町内の資源物分別作業を行っています。時には、保育園児と一緒に杵を持ち餅をつきます。つきあがった餅を口に頬張る園児の愛らしさが、委員活動のいっときを心安らかな気持ちにしてくれます。

小海町民生児童委員は今後も行政と共に社会福祉のために頑張っていく所存です。

北信ブロック

『元気な年寄りが地域を明るくする』を信じて

下高井郡野沢温泉村民児協

高澤 洋子

民生児童委員になつてすぐに立ち上げたふれあいサロン「じよんのび会」の活動が7年目に入りました。家族との同居が多い地区ですが、同居をしても疎外感を感じたり、家族との軋轢(あやまり)の中で寂しい思いや苦しい思いをしている年寄りが多いことに驚きました。そこで、行動範囲が狭くなっている年寄りが引きこもりにならないようにと地区の年寄りに声かけをして「茶話会」を始めたのがきっかけでした。2年目からは年間計画を立て、豪雪地ですので、春からの9カ月間、月1回の例会を持っています。

内容は、料理教室・ゲームやリズム体操で健康づくり・温泉旅行・オレオレ詐欺防止や交通安全教室・ボケ防止に折り紙やぬり絵教室などですが、花ロードの苗植えをしたり、区民祭の演芸大会へ参加したりと委員の要望を取り入れながら、皆が楽しいひと時を感じてもらえるように心がけています。会員は、70歳以上の高齢者が約25人です。腰痛や膝痛

で足を引きずりながらも、毎回15人位が参加します。地区の行事等に協力することでふれあいを楽しみながら、元気な高齢者をアピールしていきます。

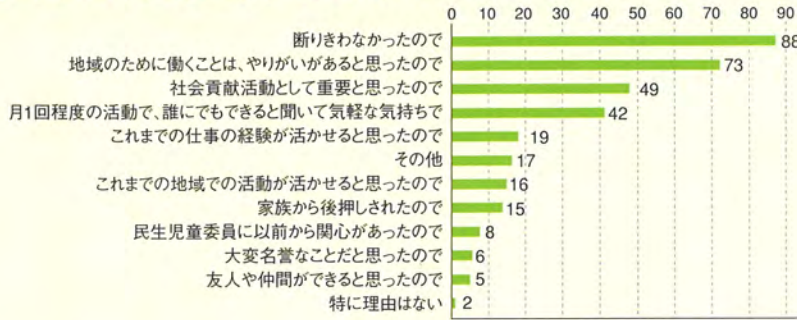
また、例会を通して地区内のいろいろな情報が得られるので、民生児童委員の活動にも役立っています。会の運営は、社協と区からの助成金(2万円)と参加者からの会費で賄っています。

※「じよんのび」はこの地方の方言で「寿命が延びる位、身も心も癒される」という意味。「じよんのびできたー」と「本当にじよんのびだ」と使われる。



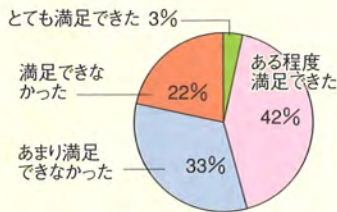
▲じよんのび会7月例会(7月12日)  
ボケ防止には指先と頭を使う折り紙が最適。  
この時は和紙で変わり鶴に挑戦!

Q あなたが民生児童委員を引き受けられた動機は何でしたか？

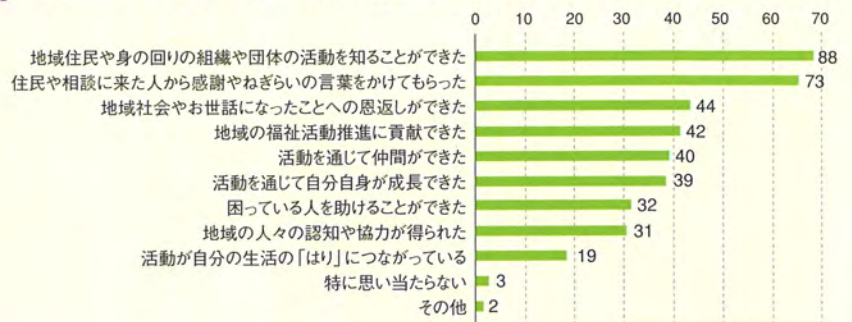


- 1 調査対象  
県内新任の民生児童委員  
各市町村から任意抽出
- 2 調査期間  
平成23年6月30日～7月22日
- 3 回収数  
149通 (回収率85%)

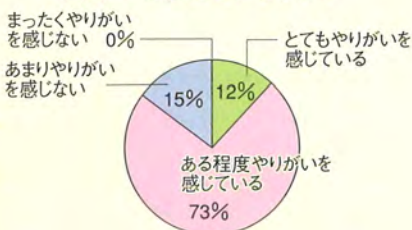
Q あなたが民生児童委員に推薦される際に受けた説明の内容は、満足でしたか。



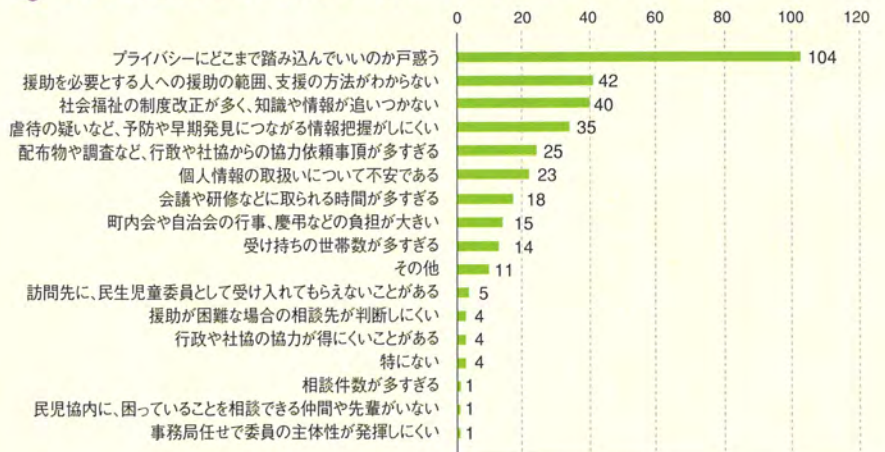
Q あなたはどんな時に民生委員・児童委員としてのやりがいを感じますか。



Q あなたは民生児童委員に対して、やりがいを感じていますか。



Q あなたは活動していく上での悩みや苦勞がありますか。



新しく民生児童委員になられた皆さん、いろいろな戸惑いを感じながら活動をされていると思いますが、委嘱を受けて8カ月、そんな中で地域の方々から「くろくさま。ありがとうございます」の言葉をいただいたことで大きな自信になったことと思います。これからその言葉に励まされて頑張れることでしょう。先の長い我々の活動、力まずにやれたら良いですね。

先日計らずも松本市内でも震度5強の地震を体験し、その恐ろしさに改めて身が引き締まる思いをしました。同じ市内であってもずいぶん揺れの違いがあり、多くの建物の被害があった地域、そしてほとんど被害が見られなかった地域、そんな中で我々民生児童委員も行動を起こしました。しかし、どれくらい地震でどのような行動を起こせば良いのか、これは難しい問題だと思います。ただ我々民生児童委員は意識を持って事に向かう心がけは忘れてはいけない。地区の目標である「お尻は軽く、口は重く」を念頭に、地区福祉の向上に日々頑張っています。

(小林 善則)

